夕刊 京城日報
昭和十六年十二月二十五日

ウエーキ島完全占領
わが陸戰隊果敢な敵前上陸
頑敵を潰滅感激の日章旗

【東京電話】大本營海軍部發表（二十四日午前十一時）――

一、帝國海軍は激浪烈風を冒して二十二日夜半ウエーキ島を攻撃しわが陸戰隊は頑強なる抵抗を排除し敵前上陸を敢行、二十三日午前十時半同島を完全に占領せり

二、同方面の作戰においてわが方驅逐艦二隻を失へり

米海軍省確認す【リスボン二十三日同盟】ワシントン來電によれば米海軍省は二十三日午後旱軍部隊がウエーキ島に上陸した事實を確認次の如く發表した

日本軍は二十二日ウエーキ島を猛攻し二十三日早朝同島に上陸した

飛行機の各基地が完備してをり守備兵力としては海兵隊三百のほか有力な高角砲陣地に重砲陣地を整備要塞化が完了してゐた、帝國海軍は去る八日開戰以來同島に對し再三襲撃を敢行したが同島周圍の海面は常に激浪烈しく加ふる珊瑚礁特有の暗礁と早潮流でわが上陸作戰に多大の障碍となつたがわが海軍將兵の勇武はよくこの天嶮と熾烈な抵抗を排除して上陸に成功占領したもの、過般のグアム島攻略と相俟つて米國はこれにより西南太平洋進攻路の足場を失ひ比島方面への増援などは愈よ完全に絶望となり、比島方面におけるわが陸海作戰は一段と有利になつた

比島への増援絶望
米進攻の足場を失ふ

【東京電話】廿三日わが海軍の占領するところとなつたウエーキ島は軍縮條約破棄の昭和十二年一月一日以來米が千五十五萬四千ドルの巨費を投じて軍備に狂奔してゐた米太平洋前進基地の一つであり、咽喉ハワイ、ミッドウエーよりこの地を通じて比島方面に多量の軍用資材を輸送してゐたが、同島にもすでに潜水艦小艦艇

わが軍の猛攻に撃沈された敵砲艦（送電）

伊政府駐佛大使任命

【ローマ二十三日同盟】イタリー政府は二十三日イタリー外務省政務局長ギノプチ氏を駐佛大使に任命、同氏をパリに駐在せしめる旨を發表した

星港にまた空襲警報

【ブエノスアイレス廿三日同盟】シンガポール來電イギリスマレー軍司令部廿三日發表

一、マレー北部の軍事情勢には變化なし

一、廿二日夜シンガポールに空襲警報が發せられた

一、廿二日夜イギリス空軍は泰國のパタニ飛行場を空襲したが、視界が悪く成果を認めることが出來なかつた

一、廿二日午後六時日本軍が香港島の一部を占領した、しかしイギリス軍は香港島に據り抵抗を繼續してゐる

援蔣の策源地蘭貢を大爆撃
邀撃の敵機を撃墜
全市を火焰の海と化す

【〇〇基地二十三日同盟】わが荒鷲の大編隊は二十三日午後ビルマの首都ラングーンの大爆撃を敢行した、この朝紺碧の空には一片の雲も止めず南國特有の強い陽光が照りつけてゐる、ビルマルートの名で國民のすべてが夢にも忘れ得ぬ援蔣の策源地の爆撃

〇〇基地では將兵の士氣は弾が上にもあがり〇時出發の合圖とともに大編隊は一路、弾丸のやうに飛び立つた、高度〇〇メートルに機はぐんぐんと速度を延ばし途にラングーン郊外にその雄姿を現はすや、敵は小癪にも市内四ケ所の高射砲陣地から猛射をはじめた

間髪を入れずわが命中弾は格納庫をはじめ飛行場に待機してゐる敵機を次々に木端微塵に吹飛ばした瞬間、飛行場の片隅から敵戰鬪機十五機が敵ながらも天晴れに一齊に舞上つて挑戰して來た"來たぞ"とこれを邀へ擊つわが機銃が唸りをつんざくやうに咆哮すると敵は忽ち二機、三機と白煙を引いて落下して行く、一方後續部隊は精油工場、埠頭、工廠などに巨彈の雨を降らせ一つ一つ的確な命中彈を浴びせ精油工場からは天に冲する黑煙が吹き上り埠頭は滅茶苦茶に吹飛んで碇泊してゐた巨船が赤い船腹を見せて横倒しになつてゐる、市内目抜の市政府、官廳、兵營、停車場などの各所からは猛烈な火焰を起しわが爆撃が百パーセントの効果をあげたことを示してゐる、わが攻撃に接し逃走した敵機は再びその姿を現はし執拗な攻撃を繰返し、再び壯烈な空中戰が随所に展開されたがたちまち敵機を撃墜すると他は倉皇として逃走した、かくてラングーン市上空の激戰は〇分、わが荒鷲は所期の目的を十二分に果して火焰の海と化したラングーンを後に全機悠々歸還した

蘭貢、市街戰を準備

【リスボン廿三日同盟】印度より敗走する敵集團に果敢なる爆撃を浴びせ甚大なる損害を與へた旨が報地に達した信ずべき情報によればビルマの首都ラングーンでは市内各所に塹壕や防空壕を掘り盛んに市街戰準備を整へてゐるが、政府當局はさらに市内廿ケ所に防火用大型貯水槽の建造を命じた

英機、泰領に來襲

【バンコック二十四日同盟】泰國陸軍最高司令部二十三日發表

一、二十一日午前六時二十分英機一機シンゴラに來襲、爆彈四個を投下した

一、同日午前十時四十分ナコンサワン（バンコック北方二百五十キロ）上空に敵一機飛來爆彈三個を投下した

一、同日午後二時二十分敵機六機はプラチュアブキリカン（バンコック南方二百キロ）およびその北方ホアシンを空襲した

一、二十二日午前十一時ホアシン附近のタンボンポフアイに敵機二機來襲民家に銃撃を加へた

日本軍續々上陸
比島の戰鬪愈よ激烈
米側發表

【リスボン二十三日同盟】ワシントン來電、米陸軍省發表

一、比島〇〇における戰勢はます／＼激烈を加へつゝあり

一、日本軍は増強された爆撃機、戰鬪機の掩護下に〇〇、〇〇間に續々上陸を續けてゐる

一、ルソン島の他の方面にも輕微な空襲があつた

一、ミンダナオ島ダヴァオ附近でも戰鬪繼續中

【ヴイシー廿三日同盟】比島攻撃の皇軍は廿二日〇〇に新に上陸米比軍の新上陸を認め左の如く戰況を

けてゐるが、マニラ米側によれば、マッカーサー米東洋軍司令官も甚

敵據點を續々覆滅
郎溪を占領、敵の退路を遮斷
江南作戰 戰果を擴張中

【南京二十三日同盟】戰禍の中文に展開された江南作戰の戰況左の通り

一、長蕩湖、石臼湖中間地區西部山岳地帶より行動を起した〇〇、〇〇各部隊は二十二日正午ころ郎溪北方二十キロの梅渚鎭を占領後引つゞき南進をつゞけこれと策應して固城西南方水陽鎭、新和鎭方面より攻撃に出たる〇〇、〇〇各部隊は二縱隊となり廿二日午後六時敵第四十師の本據たる郎溪を占領、敵の退路を完全に遮斷し三方面より包圍圈を縮圍しつゝある

一、池州南方地區〇〇、〇〇などの各部隊は二十二日未明堅固なる第一線既設陣地を突破して南進中まだ建德南方地區より行動を起した〇〇部隊は敵第百四十七、百四十八兩師に對し二十二日果敢なる夜間攻撃を敢行、敵陣地深く約二十キロ突入し引つゞき戰果擴張中

一、陸上部隊の進撃に協力せる〇〇飛行隊は二十二日朝來宣城、廣德、杭村などの敵軍事施設および

東龍島を爆撃

【南支〇〇二十四日同盟】わが南支海軍航空部隊は二十三日も香港島東方の東龍島を攻撃し、熾烈な防空砲火を冒し山頂、山腹に點在するトーチカその他の殘存軍事施設に反復果敢なる銃爆撃を加へた

麥類百十萬石を増産
作付轉換、畓裏作麥の擴張等
緊急食糧増産對策決る

朝鮮における食糧増産に關しては増米計畫と並行し昭和十六年度以降五ケ年を期間とする食糧畑作物増産計畫を實施中であるが更に現下食糧事情の急速に對處する必要があるの裏作麥の擴張及び畑作朝鮮の特殊事情に鑑み特に畓で本府農林局では昭和十六年度及び十七年度の二ケ年に亘り不要不急作物の作付轉換、畓裏作麥及び作付方式の轉換に依り麥類百十萬石の増産を企圖する緊急食糧對策を決定した而して確保せんとしてゐるとこに於る作付方式の轉換に重點を置き増産の大部分を之に依りろが注目される、なほ實施方法については畓裏作麥及び作付方式の轉換は既定食糧畑作物増産計畫による年次計畫の繰上實施によるものであるが、作付轉換は桑、果樹、薄荷等差當り不要不急と認められる作物の整理を行ひ麥類その他の食糧作物の作付を行はしむるものであつて農林局ではこれが實施要綱、轉換作物の整理方法、道別轉換面積につき廿三日各道知事に通牒を發するところがあつた

米英鳴物入りで敗戰糊塗
總勢八十名〔英首相一行〕
その名も"敗戰會議"

【リスボン廿二日同盟】ワシントン來電によれば廿二日同地に到着したチャーチル首相の一行を迎へたルーズヴエルト大統領以下の米政府首腦は廿二日午後五時よりホワイトハウスにおいて米英兩國代表第一回正式會議を開催、米英軍頽勢の挽回策を協議した、出席者はルーズヴエルト大統領、チャーチル首相の外米側スチムソン陸軍長官、マーシャル參謀總長、アーノルド空軍參謀次長、ノックス海軍長官、スターク作戰部長、キング合衆國艦隊司令長官、ホプキンス武器貸與局長官、英側ポール空軍參謀總長、ボータル空軍參謀總長、パウンド海軍々令部長、ビーヴァーブルック軍需相の兩國陸海空軍首腦でホワイトハウス當局では同會議を『戰略會議』と呼んでゐる、これに先立ちチャーチル首相は廿二日夜ホワイトハウスの大統領私室でルーズヴエルト大統領と除人を遠ざけて對談、夜の更くるも知らず午前一時まで何事か語り合つたといはれる、なほチャーチル首相の一行は總勢八十名の多數に上り米英共同作戰を鳴物入りで宣傳し敗戰を糊塗せんとする英國流の焦慮ぶりを窺はしめるものがある

第一回查定一兩日中
總督府の明年度豫算
大野政務總監（東京で）語る

【東京特電】大野政務總監は廿四日午前七時東京驛着の列車で入京直ちに田村町の總督府事務所に入つたが左記の如く語つた

總督府明年度豫算は目下大藏省と折衝中であるが、一兩日中に第一回査定が行はれる模様でその後でなくては何とも言へない大東亜戰爭に臨む戰時豫算であるから總督府豫算もこれに適應した方針の下に編成さるべきでこの趣旨を以て關係方面とも折衝する積りであり、議會の會期は短縮するらしいがこれも戰時下に取つては適當な處置だと思ふ、滯京期間は未だ判らぬが例年通り正月の二三日ごろになりはせぬかと思ふ

李恒九李王職長官 あす京城發東上

李恒九李王職長官は事務打合のため廿五日午後十一時十分京城驛發東上する

貴族院成立す

【東京電話】貴族院は廿四日午前九時振鈴とゝもに全議員本會議場に參集同三分開會、松平議長より第七十九通常議會は本日を以て召集された、これより本院規則第五條により抽籤を以て部屬の決定を行ふ、各部においては速かに部長、理事を互選のうへその結果を議長に報告されたいと宣し同五分休憩、各部において部長、理事の互選を行つたのち同九時半再開、松平議長書記官をして部長、理事互選の結果を報告せしめたのち

『これにて本院は成立をつげたよつてこの旨政府ならびに衆議院に通告する』

と宣し、同九時三十四分散會

田子、内ヶ崎兩氏當選
衆議院 正副議長を選擧

【東京電話】大東亜戰爭完遂態制確立を目標とする第七十九通常議會は二十四日召集された、この日貴族院は部屬決定ならびに部長、理事の互選を行つて成立を告げたが、衆議院は小山、田子正副議長が辭任にともなふ後任選擧を行つた結果、議長に田子一民氏、副議長に内ヶ崎作三郎氏が當選して、清新なる陣容を整備した、かくて衆議院は二十五日新議長のもとに成立、會議を開き部屬決定ならびに部長、理事の互選を行つて成立を告げ、二十六日午前十一時より、天皇陛下親臨の下に嚴肅な開院式を擧行あらせられる御豫定であるかくて年内議事は兩院とも廿七日をもつて終るが、當日は國民が待望する皇軍の赫々たる戰況報告の行はれることを希望してゐるので政府においても時間に餘裕があればこれに應へることになつてゐる

田子一民氏　内ヶ崎作三郎氏

衆院正副議長 決定までの經過

【東京電話】小山、田子衆議院正副議長の辭任に伴ふ後任詮衡について、政府では絶對多數會派たる翼賛議員同盟の總務委員一任と決定したので前田總務委員以下各總務委員は廿三日午後七時半より本部に參集、今曉二時に及ぶまで協議を重ねたが、議長に島田俊雄氏、副議長に内ヶ崎作三郎氏を推薦する意見と議長に小泉又次郎氏、副議長に東鄕實氏を推薦する意見と對立して纒まらず、その何れに決定するも相當の分裂を免れない情勢となつたので總務會は對策として大物主義を一擲し明朗總選擧が行はれた場合には改めて議會態勢を整備することゝし、この際議長として田子前副議長を昇格せしめ、副議長には翼同總務部長内ヶ崎作三郎氏を推薦することに決定、廿四日早朝前田筆頭總務より各機關に諮つて承認を求めたうへ午前九時半同交、興同その他の會派に交渉を行つて諒解を得たので

貴族院各部 長理事決定

【東京電話】貴族院各部の部長理事は左の如く決定した

第一部 部長、前田利定侯（火曜）理事、河原田稼吉（研究）
第二部 部長、一條實孝公（火曜）理事、松岡均平男（公正）
第三部 部長、德川家正公（火曜）理事、伊藤二郎丸子（研究）
第四部 部長、柳原義光伯（研究）理事、渡邊修二男（公正）
第五部 部長、島津忠重公（火曜）理事、保科正昭子（研究）
第六部 部長、細川護立侯（火曜）理事、坂西利八郎（研究）
第七部 部長、西鄕從德侯（火曜）理事、酒井忠克子（研究）
第八部 部長、德川賴貞侯（火曜）理事、山川端夫（研究）
第九部 部長、桂廣太郎公（火曜）理事、秋月正三部（研究）

馬事團體令 勅令 けふ公布さる

【東京電話】農林省では民間馬事團體を一元的に統合するため、さきに總動員審議會において可決された要綱に基き馬事團體令の法文作成を急いでゐたがこのほど完了したので、廿四日勅令および關係法規を公布、即日施行するとゝもに日本馬事會の會員として左の團體を指定し設立命令を發した同團體は一月十日頃の豫定である

軍用保護馬鍛錬中央會、大日本騎道會、日本競馬會、日本輓曳競馬會、日本裝蹄士會、道府縣の馬に關する畜産組合聯合會又は道府縣區域の畜産組合、帝國馬匹協會

米に又罷業勃發

【ストックホルム廿三日同盟】大東亜戰爭の緒戰において大打撃をうけたアメリカは對日戰爭に大童であるが、その障碍となるものに罷業問題あり、廿三日クリーヴランドおよびサンフランシスコからの電報は右兩地にまたぞろ罷業が勃發したことを報じてゐるすなはち

一、クリーヴランドでは同地の陸軍關係者は金物化學會社の罷業により火藥生産力が脅威されてゐると聲明した

一、サンフランシスコ附近で熔接工の罷業が漸次惡化したためアメリカ海軍院發表員は海軍の註文を引受けてゐる百十四の工場入口に警甲車に分乘配置されたこれら諸工場引受けの海軍註文は總額約十億ドルに上るといはれ、海軍當局ではこれが成行に非常に脅威を感じてゐる

―人―

◇林柏生氏（中華民國駐京城總領事）新任挨拶のため廿三日本社來訪【寫眞＝林氏】

◇潘遂生氏（中華民國公使館駐神戸領事）着任挨拶のため廿三日來社【寫眞＝潘氏】

◇黄德章氏（同副領事）同上

◇伊藤正慤氏（京城商議理事）廿四日〃あかつき〃で東上、一月六日歸城の豫定

時の錄音

通常議會けふ召集、曉古未曾有の大東亜戰爭下の議會だ。眞に國民の總意の結集をこゝへ。

×

ウエーキ島完全占領、米國の太平洋據點は次々に占領だ。

×

次はルソン、ミンダナオだ。ルソン島の如き日本に來るは歴史の必然だ。

×

香港も時間の問題となつた。僅に海に踊々たるこの戰果をみよ。

×

然し、國民よ、これに上ツ調子になるな。

×

香港陥落だ、長期戰だ。戰ひつつ肥りつゝ十年を覺悟しよう。

鼻の惡い人は
＝必ず頭が惡い＝
◉手輕に治したい方へ 無代進呈

鼻が詰る人、年中鼻汁が出る人、鼻が乾く人、頭が常に重く散漫に悩まえる人、物の香ひの判らぬ人、不眠症の人、物覺え悪く物忘れの甚だしい人、蓄膿症、肥厚性鼻炎等鼻の病でお困りの方は綠ドクトル新發明の最新の治療法を御一讀下さい。鼻病の治療にはどんな療法が一番よいか、鼻病の見分け方治し方、頭腦明快の秘訣等懇切叮嚀に説かれてあります。希望者は『京城日報』で見たと記入し（ハガキで京城府本町四丁目ミナト藥房京城出張所へ御申込下さい。即時無代進呈致します。

マレー敵前上陸 報道班員の貴重な手記

溺れても銃は手に

【〇〇にて廿三日同盟】去る八日未明海軍と同時にマレー東岸の要衝コタバルに對しわが陸軍は果敢なる敵前上陸を敢行、ついで果敢なる進撃を行ひ英軍第一の抵抗線を突破したが、この間の詳細が十三日漸く到着した上陸部隊附報道班員の手記によつてはじめて明かにされた、大本營陸軍部發表によれば同上陸部隊は「敵陣地帶を突破、英軍機械化部隊を撃破して進撃、戰況有利なり」と簡單に報告してゐるが、敵は三千の兵力と四十門の火砲を擁し、鐵條網、地雷を張り巡らせた堅固な陣地によつて頑強なる應戰を行ひ、これに對するわが軍の奮戰は鬼神も哭く壯烈さであつた、以下は同報道班員の手記である

八日は折惡く月明りだつたゝめ、わが艦艇の接近を敵はいち早く察知し、上陸開始後間もなく對岸一帶の防禦陣地からの猛射に加へて午前三時半から一時間にわたり二機乃至三機、同じく五時から卅分間に四機乃至六機、さらに同じく六時から卅分間に六機乃至二機と敵の戰鬪機や爆撃機がわが輸送船に襲ひかゝつた、夜空を劈き炸裂する爆音、海岸一帶からの敵の集中砲火に船艦は巨鯨のやうに振動する、濛煙立ちこめる海上には風浪猛り狂つて

本船を離れた上陸部隊の小艇も揉み合ひ重なり合つて進まうともしない、海岸からの敵銃火は一層激しくなつて來た、わが〇〇丸はつひに午前五時卅分火を發した、炎々たる火焰が夜を焦し傾く船上で奮戰する高射砲隊員の阿修羅の如き奮戰を描き出して壯絶の極みである、銃をかざした兵たちは甲板に靴を脱ぎ捨ていち早く水中に躍り込んだ、敵戰鬪機の群が旋回する、

敵の 惡魔

のやうな姿を翻して機銃掃射を開始した、本船からも木の葉の如く上下する小艇からも友軍兵士たちは敵をくひ縮つて應戰した、一機また一機、黒い翼がぱつと紅蓮の焔を吐き眞つ逆さまに海中に突つ込んだ、泳いでゐる兵士たちの鐵兜が沈んだかと思ふとまた浮いた、そして口から鼻から白い水を吹き出し續けた、輸送船からは船員たちが銃を放せと叫び續けた、然し海岸に泳ぎついた兵隊たちで銃を失つてゐたものは一人もなかつた、これでこそ日本軍は強いのだ、勝てるのだ

私は

急に涙ぐんだ、こんなにして海岸に辿り着くさへ容易ではなかつたのだ、しかも漸くにして辿りついた海岸はどうだつたらう、波打際から白洲など十メートル離れて敵の鐵條網だ、その屋根型の敵鐵條網の背後には三輪型に束ねた頑丈な有棘鐵線だ、さらにその背後には屋根型の鐵條網だ、そこから五十メートル後方の丘をなす一帶には椰子の木の陰に灰色のトーチカが並んでゐる、そのトーチカが嵐のやうに吼えたてゝゐる、嵐の姿で這ひ上つたばかりのわが將兵は

身を

隱すべき何物もなく波打際につゝぷしたまゝ身動きも出來ない、敵陣は味方よりも遙に優勢な兵力と銃火器で固めてゐるらしい、この味方の兵力で正面からぶつかつて行くとしたらどうなるだらう、兵隊などは兩手を揃へて本能的に砂を掘つたそのくぼみに顏を埋した、さらに掘つた、それが肩を覆ひ全身を埋めた味方の銃聲が俄然激しさを加へて來た、敵陣地に突進した

文化

體驗の海軍魂（下）

和田八千穗

（山村耕花氏畫）

今度の海軍の赫々たる戰果にしても、世の人達は帝國海軍の強さを知り、驚歎の目をみはるばかりだが、眞の海軍精神を掴んでくれる人は少いやうに思はれる。話は少し外れるけれど東郷さんは常に默々として下を向いてゐたが、この不言實行こそ、海軍精神の現れの一つである。今度のハワイ海戰の戰果にしても、わが海軍は確實な詳報があがるまでは、その戰果を最少限度に發表してゐるではないか。然るに事實は次第に擴大して、米國太平洋艦隊全滅といふ實認が集つて來たといふ現狀ではないか。勝つて驕らず、この謙讓な精神が眞の日本の海軍魂である。

これが、もしも外國の海軍だつたら、恐らく誇大に發表したに違ひない。

この海軍魂を如實に物語つて來た海軍の歴史も素晴らしい。既に今回の海戰では戰艦を航空機で撃沈することは至難とされてゐたのに、それをわが海軍航空隊は緒戰において易し遂げてゐる。わが國は航空術をイギリス、フランスから教はつたが、彼等は肝心なものを持つてゐなかつた。つまり一發必中の體當り戰法は、我々日本魂からでなければ生れ出ないといふことを、今後の緒戰においてわが航空隊が敎へてくれたともいひ得る。私は、その後明治三十八年の日露海戰には、軍令部出仕として京城に在勤、漢城病院（海軍病院）長として仁川沖の海戰にも軍醫監督護婦を從へ、仁川へ駈せつけて敗敵ロシヤの將兵に外科手術をして多數の重傷者を治療し

戰後ロシヤ皇帝から感謝の勲章を授與されたが現在は海軍を退いてもその烈々たる海軍魂においては人後に落ちないつもりである。そして外科病院長として治療の傍ら海軍有終會朝鮮支部長として御奉公してゐるのも、忘られぬ海軍精神からであつて、日毎に報ぜられる我海軍の戰果は、人一倍身に沁みて嬉しいのである（終）

臨戰報國團が婦人向き講演

廿七日府民館

臨戰報國團では決戰下に處する婦人の覺悟を喚起せしめんと先に婦人部の設置を行つたが、來る廿七日（土）午後六時半府民館で講演會を主催する、入場無料で出演題と講演者は次の通り

『女性の武裝』金活蘭『迷夢より覺めよ』林孝貞『國防と家庭』朴順天『君國の母』崔貞熙『銃後女性の覺悟』許河伯『家庭の新秩序』任淑宰『必勝への道』高鳳京『女性も戰士だ』毛允淑

風邪とお茶

ヴイタミンC療法

保健は平時においても勿論のことですが、戰時下の國民が一層健康に留意せねばならぬ秋、萬病のもとである風邪引きも食物によつて充分防ぐことが出來るのです

最近は風邪の原因としてヴイタミンCの不足することが解りましたが、このヴイタミンCは私達食品生活に密接な關係を持つ所のお茶の中に多分に含まれてゐる外、豐富に出廻つてゐる蜜柑もヴイタミンCの源泉です

たゞ注意しなければならないことは、お茶は上等の物程ヴイタミンが多いのですが、餘り節約して出し殼を用ひますと、人體に惡作用を及ぼすタンニンが多く出て心臟を弱くしますから、二十分位湯につかつたお茶は惜しみなく取り替へるやうにしませう

かうして日常手に入り易いお茶や蜜柑で今年の冬は健康に過したいものである（食料研究所高島右吉ノ氷氏談）

新しい國民演劇へと

高協の〝椿咲く村〟

新春早々府民館に上演

皇道府國民劇『街道』を先に發表した高協は、更に決戰體制下の時局に處すべくその第二彈を新年一月二、三、四の三日間京城府民館に放たんとしてゐる、この脚本は過般陸軍特別志願兵として皇民としての信念を固めた朝鮮作劇界の麒兒林仙圭氏が一年有餘、心血を傾注して執筆に當つた『椿咲く村』三幕九場で諸般の上演準備についてはこのほど入營した企畫部長許達氏の勸意で新趣向が凝らされてをり廿三日夜半島ホテルにおいて軍報道部及び警務當局等立會のもとに本讀みを行つたが、作者林仙圭氏は語る

論者の姉を持つた志願兵がゆくりなくも戰場でその姉と邂逅するのに始まり、劇的興味を矢篇早やに盛つたもので、この點多少新派悲劇調の譏りは免れませんが、志願兵を通じての半島人の皇民的感激を如何にしたならば最高度に然も面白く描き得るかの點語をこゝに求めた次第です

なほ演出には安英一氏が當り、內地からは森勝武氏が特別參加して警察署長に扮するなど從來より遙に前進した企畫であり殊に部所に國語を織込んで現實の生活を浮き上らせ、劇的要素もメロドラマチックに展開されて大衆的にも多分の興味を盛つてゐるので、新春劇界の評判となるばかりでなく、半島劇壇としても近來の大當りをとるものと見られてゐる【寫眞＝本讀み會】

韓成俊翁追悼舞踊

朝鮮舞踊界の巨宿故韓成俊翁を偲び、來る廿五、廿六兩日（晝夜二回）城寶で翁の追悼公演が催される、出演はいづれも錚々たる半島演藝界の第一人者揃ひで番組も一、二部に分れ、雅味横溢の名作を豐富に網羅する

京日文化映畫劇場

廿五日からの新番組

大東亞戰ニュース第一報　香港猛爆擊

陸軍省後援記録映畫　進む船團（二卷）

泰國に長政の遺跡を探ぐる

迎春風土記

外に海軍、朝鮮ニュース封切

不連續線

光明

今は大東亞戰爭の中に含まれてしまつたけれど、今度の戰爭が起るまでの支那事變は、既に四年半もつゞいて、正直のところ、銃後の國民も、多少疲れ氣味でなかつたとはいへない。

しかし、それが大東亞戰爭といふやうに、規模が遙かに大きくなつて、なほ更に長期に亘ることがわかつて來たのに、誰の胸にも張りが出來て、希望らしい光明を持つやうになつたのは何故か。

一步盟制の米英支配を打破して、新しい東亞の築かれる日が、眼に見えて近く迫つて來つゝあることを感じ得るからである。

盟主日本を中心に、豐富な南方資源のことを考へるだけでも、鬱陶しさは一掃霧消してしまふ。

しかし、それは支那事變における戰ひであつたからであることを忘れてはならない。

われ等の戰ひは、なほ辛苦がつゞくであらうが、明るい希望のある戰ひであることが、はつきりわかつた今として、年のつまりになつて、忘年會などは以てのほかのことで、年を忘れるどころか、お互によく覺えて置くべき時である。

わが荒鷲のよき餌食

〝空の要塞〟など米英空軍の性能

【東京電話】わが陸海軍の荒鷲はハワイに西南太平洋に決死の大爆撃を敢行、開戰劈頭早くも米英空軍主力に潰滅的打擊を與へアメリカが世界に誇る空の要塞ボーイングB十七をはじめ、一千台に垂んとする敵機は、わが荒鷲の猛襲下にあへなく炎上、または擊破の非運に陷つた、これら東亞戰線に急派する米英空軍の機種は爆撃機ではアメリカのボーイングB十七、同じくダグラスB十八ーA、偵察哨戒機ではイギリスのショート・サンダーランド一、ブリストル・ブレンハイム一などが確認されてゐるが、これら米英機の性能を調べてみよう

▼ボーイングB一七（爆撃機）これは「空の要塞」といはれてゐる化物的遠距離爆撃機で一千馬力、發動機四基、上昇限度八千米餘、爆彈搭載量は二トン、翼長卅二米、全長廿一米、全重量廿二トン餘といふ巨大な化物時速四百廿キロ、航續距離は最長四千八百キロにも及ぶ、機銃五を備へてゐるが翼幅が大きいだけに動作がのろいのが缺點である、乘員數九

▼ダグラスB一八ーA（爆撃機）空の要塞よりやゝ小さく一千馬力發動機二基、翼長二十七米餘、全重量十トン半、時速三百六十キロ、航續距離は三千キロといふ、上昇限度は六千米餘、機銃二乃至三を備へ、爆彈搭載量は二トン程度、乘員數七

▼英機ブリストル・ブレンハイム　これは偵察機をかねた小型爆擊機で八百四十馬力、發動機二基、爆彈搭載量は九百キロにすぎないが、時速四百七十キロ、航續距離は小型の割に長く三千キロにおよび、上昇限度八千二百米、翼長十七米、全長十二米餘で大きさは空の要塞の約半分、重量は五分の一、機銃三、なほブリストル・ブレンハイム二といふのもあるが、これは頭部にやゝ改良を加へたもので、同一と大體同じもので乘員數は一、二ともに三名

▼ショート・サンダーランド一　飛行艇の水上沿海偵察機で爆擊機も兼ねてゐる、八百四十馬力、發動機四基を有し、翼幅は非常に大きく翼長三十四米餘、全長二十六米、全備重量は二十トン餘、大きさも重さもほとんど空の要塞と同じである、時速は三百卅餘キロだが、航續距離は長く四千六百キロ、上昇限度は六千二百五十米、また機銃七を備へ、乘員數は六乃至八

寫眞【上】ダグラスB一八ーA【右下】ブリストル・ブレンハイム二【左中】空の要塞ボーイングB一七【左下】ショート・サンダーランド一水上偵察機

國防献金（廿三日扱の分）

本社寄託

＝海軍省へ＝

四千圓　京城製材業組合

六百圓　京城府黄金町一　丸屋商事會社

五百圓　京城府本町三ノ九二　朝鮮石油會社本社從業員一同

三百圓　京城府蓬萊町二　愛婦二、三丁目分區

二百六十八圓九十七錢　北鮮合同電氣羅津支店

百圓　京畿道廳大岸衛生課長外二〇名

百圓　京城府若草町一〇二　東郷満次郎

百圓　京城府本町二ノ九二　丸屋商事會社々員一同

七十二圓四十五錢　京城太平通一朝鮮貿易振興會社本社々員一同

▲七十圓　京城府壽町第四區第十三愛國班▲五十五圓　京城府若草町第一區第七愛國班▲五十圓　京城府芳山町一二三日本特殊コンクリート工業所吉田義司▲二十圓　京城府苑南町四二安本秀一▲二十圓　京城府芳山町二村山三郎▲十圓　京城府芳山町一鄭圓燦▲四圓二十二錢　京城

＝陸軍省へ＝

四千圓　京城製材業組合

八百廿一圓八十一錢　京城府觀水町一〇二和光學校兒童保護班

六百圓　京城府黄金町二　京城與拓役職員一同

五百九十圓　京城府黄金町一　朝鮮石油會社本社從業員一同

五百二圓三十七錢　京城府仁寺町一三一　朝鮮家具同業者一同

五百圓　京城府吉野町一ノ一二七　中村シゲ

三百圓　京城府本町二　丸屋商事會社

百圓　京城府本町二ノ五三　兒山タツ

百圓　京畿道廳　天岸衛生課長外二〇名

百圓　京城府若草町一〇〇　佐藤武吉

百圓　京城府本町二　丸屋商事會社々員一同

百圓　京城少年刑務所職員一同

▲七十圓　京城府壽町第四區第十三愛國班▲五十五圓　京城府若草町第一區第七愛國班▲五十一圓　小鹿島刑務所有志一同▲五十圓　京城府芳山町一二三日本特殊コンクリート工業所吉田義司▲二十二圓二十錢　京城府廳工營部土木課第三技術係一同▲二十一圓　京城府岡崎町七〇岡崎町々會▲二十八圓八錢　城東商科學校第三學年生一同▲十八圓六錢　咸南豐大國民學校長▲九圓二十五錢　京城校洞國民學校三年一ノ組二ノ組▲八圓六錢　匿名▲七圓二錢　京城府鍾路國民學校一年三組朴昌琛

【累計】金二十六萬二百八十八圓六十七錢也

皇軍慰問金

（陸海軍へ）一千圓　朝鮮運送京城支店長　前原一喜

【累計】金九萬一千七百七十二圓四錢也

總計　金四十五萬二千六十圓七十一錢也

三國志（六九一）

赤壁の卷

吉川英治（作）　矢野橋村（畫）

鳳雛巢を出づ（一）

いまの世の歎子、吳子は我を措いてはなし――と、ひそかに自負してゐる闞澤である。一片の書簡を見るにも實に綿密冷靜だつた。蔡和、蔡仲は、もとより自分の心の者だし、自分の眼をかけて吳へ密偵に入れておいたものであるが、疑ひないその二人から來た書面に對してすら愼重な檢討を怠らず、幕僚をあつめて、內容の是非を評議にかけた。

『……蔡兄弟からも、さきに吳へ歸つた闞澤からも、かやうに申越して來たが、ちと、はなしが巧過ぎる嫌ひもある。さて、これへの對策は、どうしたものか』

彼の諮問に答へて、諸大將からもそれぞれ意見が出たが、その中で、例の蔣幹がすゝんでいつた。

『面を冒して、もう一度、おねがひ申します。不肖、さきに命をうけて、吳へ使し、周瑜を說いて降さんと、種々肝膽をくだきましたが、惡く失敗に終り、何の功もなく立歸り、內心、甚だ羞ぢてをる次第でありますが――いま、ふたたび一命を擲つ氣で、吳へ渡り、蔡兄弟や闞澤の申越しが、眞實か否かを、たしかめて參るならば、いさゝか前の罪を償ふことが出來るやに存じられます。もし又、今度も何の功も立てずに戾つたら、軍法のお示しを受けるとも、決してお恨みには思ひません』

曹操は、いづれにせよ、遂に決定できない大事と、深く用心してゐたので、

『それも一策だ』

と、蔣幹の乞ひを容れた。

蔣幹は、小舟に乘つて、以前のごとく、飄々たる一道士を裝ひ、吳へ上陸つた。

そのとき吳の中軍には、彼より先に、ひとりの賓客が來て、都督周瑜と話しこんでゐた。

襄陽の名士龐德公の甥で、龐統といふ人物である。

龐德公といへば中支で知らないものはない名望家であり、かの水鏡先生司馬徽ですら、その門には禮節をとつてゐた。また、その司馬徽が、常に自分の門人や友人たちに、臥龍鳳雛といふことをよく云つてゐたが、その臥龍とは、孔明をさし、鳳雛とは、龐德公の甥の――この龐統をさすものであることは、知る人ぞ知る、一部人士のあひだでは隱れもないことだつた。

それほどに、司馬徽が人物を見こんでゐた者であるのに、龐統は世に出たが、鳳雛はまだ出ないのは何故か？

と、一部では、疑問に思はれてゐた。

けふ、吳の中軍に、ふらりと來てゐた客は、その龐統だつた。龐統は、孔明より二つ年上に過ぎないから、その高名にくらべては、年も存外若かつた。

『先生には、近頃、ついこの近くの山にお住居ださうですな』

『荊州、劉表の滅びて後、しばし山林に一庵をむすんでゐます』

『吳にお力をかし賜らんか、都督として粗略にはしませんが』

『もとより曹軍は荊州の故國を蹂躙した敵。あなたからお頼みなくとも吳を助けずにをられません』

『百萬のお味方と感謝します』

『火計一策です』

『えつ、火攻め』先生もさうお考へになられますか』

『たゞし渺々たる大江の上、一艘の船に火がかゝらば、殘餘の船は忽ち四方に散開する。――故に、火攻めの計を用ふるには、まづその前に方術をめぐらし、曹軍の兵船をのこらず一つ所にあつめて、鎖をもつてこれを封縛せしめる必要がある』

『はゝあ、そんな方術がありませうか』

『連環の計といひます』

『曹操とても、兵學に通じてをるもの。いかで左樣な計略に陷らう。お考へは至妙なりといへど、おそらく、鳥網精緻にして一鳥かからず、獲物のはうでその策には乘りますまい』

――かう話してゐるところへ江北の蔣幹が、また訪ねて來たと、部下の者が取次いで來たのだつた。